

令和 2 年 6 月 4 日現在

機関番号：12601

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2016～2019

課題番号：16K16901

研究課題名(和文) 中世後期古記録の史料学的研究

研究課題名(英文) A Historiographical Study of Late Medieval Paleographs

研究代表者

遠藤 珠紀 (Endo, Tamaki)

東京大学・史料編纂所・助教

研究者番号：10431800

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,400,000円

研究成果の概要(和文)：本研究課題は主に南北朝期から織豊期の古記録を調査し、重要なものは紹介、翻刻などを行い、その上で政治史・制度史を再検討しようとするものである。研究期間中に「綱光公記」「宣教卿記」「兼見卿記」「院中御湯殿上日記」等につき、継続的に調査・紹介を行った。一部は東京大学史料編纂所のhi-CAT plus、古記録フルテキストデータベースにおいて利用できるようにした。また当該期の政治、社会の検討を進め、研究論文・一般書の形で公表した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

中世後期の政治史を考える上で重要でありながら、未翻刻・未紹介だった史料(「綱光公記」「宣教卿記」「兼見卿記」「院中御湯殿上日記」など)につき継続的に調査・紹介を行った。また一部は東京大学史料編纂所の古記録フルテキストデータベースに搭載し、広く利用できるようにした。これらは日本史・国文学等の研究に資すると考える。

史料の再検討をもとに当該期の政治、社会についての検討を進め、研究論文、一般書の形で公表した。

研究成果の概要(英文)：This research question mainly examines the diaries of the late medieval period, introduces the important ones, and then attempts to re-examine the political and institutional history. During the research period, I continued to research and introduce "Tsunamitsu Kouki" and other documents. A part of it was made available to the University of Tokyo Historiographical Institute's full-text database of ancient records. In addition, he examined the politics and society of the period and published it in the form of a research paper and a general book.

研究分野：日本中世史

キーワード：日本史 中世 古記録 朝廷 史料学

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

歴史学研究にとって文書史料と同じく古記録(日記)史料が重要であることは言を俟たない。古文書学と並ぶ「古記録学」の必要性は、早く戦前に斎木一馬によって提唱された(斎木一馬『古記録の研究』吉川弘文館、1989年)。以後、古記録の研究は主に古代～中世前期の公家日記を中心に進められつつあるものの(松園斉『日記の家』吉川弘文館、1997年。尾上陽介『中世の日記の世界』山川出版社、2003年など)、古文書学に比して、いまだ途上にあるといえる。

殊に本研究課題で対象とする1450年代～1600年頃、すなわち室町後期から織豊期には、前代に比べて多様な階層の人々が日記を記しており貴重な情報が多く得られるにも関わらず、その史料学的な検討はいまだ充分ではない。例えば伝来してきた記主名の誤り、年次の誤り、底本とすべき良質の本の確定なども充分に行われていない事例も存在する。重要史料とされながら、全容が明らかにされていない古記録も多い。遠藤は、これまで科学研究費補助金若手研究(スタートアップ)・同(B)を得て、鎌倉期から室町期を中心に、古記録の収集検討を行い、中世朝廷における情報の流れや政務運営システムを検討してきた。これまでの研究を継続・発展させる形で、本課題では主に室町後期・織豊期の古記録を対象とする。まず研究環境の整備を行い、当該期にどのような古記録が存在したのか、所在状況を明らかにする。さらにその様式・機能・伝来等々に関する史料学的検討を、これまで研究してきた前代との関連性を意識しつつ行うことで新たな側面が見出されることが期待される。さらに共同研究として、様々な立場の研究が参加して行うことにより、いっそうの成果が得られると考える。当該期の公家たちの行動範囲は広く、またその縁戚関係・交友関係も多岐にわたる。当該期の古記録は、前代よりより広い空間的・階層的広がりを持つ史料となっており、一見京都とは関係のない戦国大名同士のやりとりが、交流のある公家の日記に残されている事例もままある。

そこで本課題では『兼見卿記』をはじめ、特に重要なものについては翻刻、データベースへの搭載などの歴史情報資源化を行った上で、当該期の古記録学研究の基盤を築き、それに基づいた実証的な政治史・制度史研究を進めていきたい。

2. 研究の目的

本研究課題では、まず中世後期の古記録史料の調査・研究を行う。日本中世の政治史・制度史、特に畿内・朝廷関係の検討にあたって必須の基幹史料の一つが古記録である。中でも南北朝期から織豊期には、前代に比べて多様な階層の人々が日記を記しており貴重な情報が多い。しかしながら本課題で対象とする室町後期・織豊期は、残存古記録の多さ、多様さとも相まって十分な把握・利用がなされておらず、当該期の古記録研究は、他の時代に比して立ち遅れており、十分な利用がなされているとはいいがたい。そこでまず本研究課題では、南北朝期から織豊期の古記録の所在を調査し、特に重要なものは史料学的性格を明らかにし、翻刻、フルテキストデータ作成などを行う。古記録は執筆や伝来、写本作成の過程で、記主の立場や様々な時代の要請を反映している。研究者個人の関心に基づく特定の記事のみの紹介・利用に留まらず、それぞれの古記録に沈潜して総体として把握することで、立体的に時代を捉えることが可能となる。このような形で古記録を研究資源として有効活用できるようにし、その上で通時代的な政治史・制度史の再検討していきたい。

3. 研究の方法

南北朝期から織豊期の古記録の所在(原本・写本)を調査し、特に重要なものは翻刻、フルテキストデータ作成などを行う。具体的には室町時代の「綱光公記」、織豊期の「兼見卿記」「院中

御湯殿上日記」「宣教卿記」などを対象とした。これらはいずれも当該期の政治を考える上で重要でありながら、十分な検討が進められていなかったものである。また公家の日記のみならず、従来あまり注目されていなかった女性の日記や上賀茂社の社司による日記にも注目した。

その上で史料の性格、伝来の検討、通時代的な政治史・制度史の再検討を行った。

4. 研究成果

史料調査は、東京大学史料編纂所架蔵の写真帳・影写本、国文学研究資料館架蔵マイクロフィルムなどによる古記録の現存状況に関する調査、史料所蔵機関に赴いての調査を並行して行った。具体的には、三重県神宮文庫、奈良県天理大学天理図書館、京都府京都大学総合博物館・東山御文庫、岐阜県各務原市内藤記念くすり博物館、愛知県中京大学、千葉県歴史民俗博物館、東京都専修大学・宮内庁書陵部・早稲田大学附属図書館、宮城県白石市などに赴き、所蔵史料の調査を行ない、必要なものについてはデジタル撮影あるいは紙焼き写真の購入による収集を行った。また御所蔵者の許可の得られた史料については、遠藤の所属する東京大学史料編纂所のDBで閲覧できるようにしている。

史料紹介としては、『兼見卿記』五～七(八木書店、2016年・17年・19年、共編)、「『兼見卿記』紙背文書」一～四(『ピブリア』149号・150号・151号・152号、2018年～20年)、「綱光公記」(『東京大学史料編纂所研究紀要』27号～30号、2017年～20年、共著)、「院中御湯殿上日記」(田島公編『禁裏公家文庫研究』第六輯・第七輯、2017年・20年)、「國學院大学図書館所蔵「天正十一年・十二年日次記」(座田文書)の解題と翻刻」(『國學院大學校史・資産研究』10号、2018年)、「國學院大學図書館所蔵「神主竹内明久日次記」(座田文書)の解題と翻刻」(『國學院大學校史・資産研究』12号、2020年)、「宣教卿記 天正三年正月～五月記」「宣教卿記 天正三年六月～一二月記」(『早稲田大学図書館紀要』66・67、2019年・20年、共著)などの史料を継続して翻刻・紹介した。また「上賀茂社社司日記永禄八年九年」を全文データ化し、史料編纂所「古記録フルテキストデータベース」において公開した。

これらの史料学的検討をもとに「信長は「天皇大権」を奪おうとしていたのか」(洋泉社編集部編『本能寺の変と明智光秀』洋泉社、2016年)、「秀吉と天皇 実像編」(堀新・井上泰至『秀吉の虚像と実像』笠間書院、2016年)、「誠仁親王の死去と「陽光院御登遐記」の成立」(『古文書研究』82、2016年)、「中世後期の女性の日記 伝『大外記中原師生母記』について」(『日本文学研究ジャーナル』2、2017年)、「伝えられた知識と失われた知識」(前田雅之編『画期としての室町』勉誠出版、2018年)、「年中行事絵 承安五節絵」(佐藤信・小口雅史編『古代史料を読む 下平安王朝篇』同成社、2018年)、「朝廷の政治と文化」(高橋典幸・五味文彦編『中世史講義』ちくま書房、2019年)、「中世の元号」(『歴史と地理 日本史の研究』727、2019年)などを発表した。中世の朝廷制度史を考える上でも、中世国家を考える上でも大きな論である佐藤進一氏の「王朝国家論」の再検討を行い、2019年度中世史研究会大会シンポジウム「佐藤進一の軌跡—いま、「中世国家」を問う」にて「佐藤進一氏と「王朝国家」論」として研究報告を行った。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計17件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 5件）

1. 著者名 遠藤珠紀	4. 巻 727
2. 論文標題 中世の元号	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 歴史と地理 日本史の研究	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 遠藤珠紀、須田牧子、田中奈保、桃崎有一郎	4. 巻 30
2. 論文標題 綱光公記 宝徳二年四月～五月記	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東京大学史料編纂所紀要	6. 最初と最後の頁 170 - 78
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 遠藤珠紀、宮崎肇、金子拓	4. 巻 67
2. 論文標題 『宣教卿記』天正三年六月～一二月	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 早稲田大学図書館紀要	6. 最初と最後の頁 82 - 112
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 遠藤珠紀	4. 巻 12
2. 論文標題 國學院大學図書館所蔵「神主竹内明久記」（座田文書）の解題と翻刻	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 國學院大學校史・学術資産研究	6. 最初と最後の頁 197 - 225
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子拓、遠藤珠紀	4. 巻 151
2. 論文標題 『兼見卿記』紙背文書(3)文禄三年春夏記・同秋冬記紙背	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ビブリア	6. 最初と最後の頁 67 - 91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子拓、遠藤珠紀	4. 巻 152
2. 論文標題 『兼見卿記』紙背文書(4)慶長二年記紙背	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ビブリア	6. 最初と最後の頁 64 - 81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 遠藤珠紀・宮崎肇・金子拓	4. 巻 66
2. 論文標題 「宣教卿記 天正三年正月～五月記」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 早稲田大学図書館紀要	6. 最初と最後の頁 145-171
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 遠藤珠紀・須田牧子・田中奈保・桃崎有一郎	4. 巻 29
2. 論文標題 綱光公記 宝徳二年正月～三月記	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東京大学史料編纂所研究紀要	6. 最初と最後の頁 133-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 金子拓・遠藤珠紀	4. 巻 149
2. 論文標題 『兼見卿記』紙背文書(一) 文禄三年春夏記・同秋冬記紙背	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ビブリア	6. 最初と最後の頁 77-98
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子拓・遠藤珠紀	4. 巻 150
2. 論文標題 『兼見卿記』紙背文書(二) 文禄四年春夏記・同秋冬記紙背	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ビブリア	6. 最初と最後の頁 71-90
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 遠藤珠紀	4. 巻 2
2. 論文標題 中世後期の女性の日記 伝『大外記中原師生母記』について	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本文学研究ジャーナル	6. 最初と最後の頁 87 99
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 遠藤珠紀	4. 巻 10
2. 論文標題 國學院大学図書館所蔵「天正十一年・十二年日次記」(座田文書)の解題と翻刻	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 國學院大学校史・資産研究	6. 最初と最後の頁 147 165
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 遠藤珠紀・須田牧子・田中奈保・桃崎有一郎	4. 巻 28
2. 論文標題 綱光公記 宝徳元年九月～一二月記	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東京大学史料編纂所研究紀要	6. 最初と最後の頁 112 122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 賀茂別雷神社文書研究会	4. 巻 28
2. 論文標題 「上賀茂社社司日記 永禄八年九年」の紹介	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東京大学史料編纂所研究紀要	6. 最初と最後の頁 147 158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 遠藤珠紀	4. 巻 82
2. 論文標題 誠仁親王の死去と「陽光院御登遐記」の成立	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 古文書研究	6. 最初と最後の頁 139-141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 遠藤珠紀・須田牧子・田中奈保・桃先有一郎	4. 巻 27
2. 論文標題 綱光公記 文安六年(宝徳元年)四月～八月記	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東京大学史料編纂所研究紀要	6. 最初と最後の頁 106-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石田実洋・遠藤珠紀・尾上陽介・高橋秀樹	4. 巻 27
2. 論文標題 『山槐記』古写本の解題と翻刻	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東京大学史料編纂所研究紀要	6. 最初と最後の頁 76-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計2件 (うち招待講演 1件 / うち国際学会 0件)

1. 発表者名 遠藤珠紀
2. 発表標題 シンポジウム佐藤進一の軌跡ーいま、「中世国家」を問うー 佐藤進一氏と「王朝国家」論
3. 学会等名 中世史研究会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 遠藤珠紀
2. 発表標題 コメント
3. 学会等名 軍記・語り物研究会 2017年度大会シンポジウム
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計15件

1. 著者名 高橋 秀樹、櫻井 彦、遠藤 珠紀	4. 発行年 2019年
2. 出版社 八木書店	5. 総ページ数 304
3. 書名 勸仲記6	

1. 著者名 橋本政宣、岸本眞実、金子拓、遠藤珠紀	4. 発行年 2019年
2. 出版社 八木書店古書出版部	5. 総ページ数 250
3. 書名 兼見卿記 第7	

1. 著者名 田島公編（遠藤珠紀）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 思文閣出版	5. 総ページ数 390（105 - 129）
3. 書名 禁裏・公家文庫研究 第七輯（『院中御湯殿上日記』（天正一六年正月～三月記）の紹介）	

1. 著者名 前田雅之編（遠藤珠紀）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 544（139-155）
3. 書名 『画期としての室町』（「伝えられた知識と失われた知識」）	

1. 著者名 佐藤 信、小口 雅史編（遠藤珠紀）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 同成社	5. 総ページ数 310（258-276）
3. 書名 『古代史料を読む』下（「年中行事絵 承安五節絵」）	

1. 著者名 高橋 典幸、五味 文彦編（遠藤珠紀）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 272 (117-132)
3. 書名 『中世史講義』（「朝廷の政治と文化」）	

1. 著者名 高橋 秀樹、櫻井 彦、遠藤 珠紀	4. 発行年 2017年
2. 出版社 八木書店	5. 総ページ数 306
3. 書名 勸仲記5	

1. 著者名 橋本 政宣、岸本 眞美、金子 拓、遠藤 珠紀	4. 発行年 2017年
2. 出版社 八木書店	5. 総ページ数 272
3. 書名 兼見卿記6	

1. 著者名 田島 公編（遠藤珠紀）	4. 発行年 2017年
2. 出版社 思文閣出版	5. 総ページ数 410 (175-203)
3. 書名 禁裏・公家文庫研究 第六輯（「『院中御湯殿上日記』（天正一五年八月～一二月記）の紹介」）	

1. 著者名 橋本政宣・岸本眞實・金子拓・遠藤珠紀	4. 発行年 2016年
2. 出版社 八木書店	5. 総ページ数 295
3. 書名 兼見卿記五	

1. 著者名 橋本政宣・岸本眞實・金子拓・遠藤珠紀	4. 発行年 2017年
2. 出版社 八木書店	5. 総ページ数 304
3. 書名 兼見卿記六	

1. 著者名 堀新・井上泰至編（遠藤珠紀）	4. 発行年 2016年
2. 出版社 笠間書院	5. 総ページ数 408（210-221）
3. 書名 秀吉の虚像と実像	

1. 著者名 洋泉社編集部編（遠藤珠紀）	4. 発行年 2016年
2. 出版社 洋泉社	5. 総ページ数 239（53-66）
3. 書名 本能寺の変と明智光秀	

1. 著者名 田島公編（遠藤珠紀）	4. 発行年 2017年
2. 出版社 思文閣出版	5. 総ページ数 410（掲載頁不明）
3. 書名 禁裏公家文庫研究 第六輯	

1. 著者名 研究代表者田島公（金子拓・遠藤珠紀）	4. 発行年 2017年
2. 出版社 科学研究費補助金（基盤研究（S）仮題番号24222001）研究成果報告書	5. 総ページ数 252（145-186）
3. 書名 日本目録学の基盤確立と古典学研究支援ツールの拡充	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考
--	---------------------------	-----------------------	----